

令和2年度 学校評価（総括評価表）

重点課題	重点目標	評価指標	評価		学校関係者評価 (学校関係者の意見)
			評価指標による達成度	自己評価	
◆児童生徒一人一人を大切にし、その個性や能力に応じて自己実現をめざす教育を推進する。	＜小学部＞ ・児童一人一人の特性や能力に応じた支援により、一人一人が学びと成長を実感できる授業づくりを行い、それぞれの力を発揮できる教育の推進を図る。	①研究授業の指導内容及び指導案検討会を年間4回以上行い、小学部の全ての教員が積極的に授業づくりに関わる。	評価指標による達成度	自己評価	(所見)
		②児童一人につき年間2回以上、ホームページ等で作品を発信する。			
		活動計画	活動計画の実施状況		
	①研究授業の指導内容及び指導案検討会等において、小学部の全ての教員が助言等を行い、主体的に授業づくりに関わる。	評価指標による達成度	自己評価		
	②児童の実態に応じて、計画的に作品を制作する。				
	活動計画	活動計画の実施状況			
＜情報視聴覚課＞ ・教員のICT活用に関する指導力の向上を図り、児童生徒の実態に即したICT教材や支援機器を活用することや、病棟・家庭間を繋げる「遠隔授業システム」(テレビ会議システム等)を推進する。	①ICT機器や支援機器等の活用に関する校内研修や「遠隔授業」につながる研修を年間5回以上実施する。	評価指標による達成度	自己評価		
				②「遠隔授業」システム(テレビ会議システム)を利用した学習の実施を5回以上行う。	
		活動計画	活動計画の実施状況		
	①ICT機器や支援機器等の活用に関する内容や「遠隔授業」の手法についての校内研修を実施する。	評価指標による達成度	自己評価		
	②教員のICT活用指導力に関する研修及び遠隔授業システム(テレビ会議システム)の事後アンケートを、児童生徒や保護者、及び教員に実施する。				
	活動計画	活動計画の実施状況			
＜人権教育課＞ ・児童生徒のその個性や能力に応じて、一人一人を大切にする思いを人権週間の共同作品に表現する。	①児童生徒全員が「人権の花」の取組に参加して、一人一人の個性や能力を生かした共同作品を制作する。	評価指標による達成度	自己評価		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①-1 教職員自身が、児童生徒一人一人を大切にする思いを「人権の花を咲かそう」というテーマに込め、日頃の学習活動に取り組む。 ①-2 12月4日から12月10日の人権週間に、取組への思いを共同作品として表現したものを展示したり、ホームページ等で発信したりする。				

令和2年度 学校評価（総括評価表）

重点課題	重点目標	評価指標	評価		学校関係者評価 (学校関係者の意見)
			評価指標による達成度	自己評価	
◆安心安全な学校づくりを推進する。	<小学部> ・医療や福祉等の関係機関と連携し、専門家の助言を学校の教育活動に生かし、安心安全な学校生活を送れるように体制を整える。	①年度末に授業に関するアンケートを実施し、「専門家の意見を取り入れ安全に活動できた」という評価を、小学部教員の80%以上から得られる。 ②小学部で統一した引継ぎ資料の様式を作成するとともに、専門家の意見を反映させた引継ぎ資料を、小学部児童10名全員に作成する。			(所見)
		活動計画 ①-1 食事に関する指導や自立活動（からだ）の授業等、自立活動を実施するにあたり、定期的に専門家の助言を受け、指導に反映させるとともに、指導にあたる教員間での共通理解を図る。 ①-2 12月中に、小学部教員に自立活動に関するアンケートを実施する。 ②引継ぎ資料の作成にあたっては、グループ会を実施する等、複数名の視点での引き継ぎ資料となるよう作成する。	活動計画の実施状況		
	<特別活動課> ・防災学習を通して、災害時における児童生徒の主体的な安全確保の能力向上を進める。	①定期の避難訓練以外に、各学部における防災学習を、年間1回以上実施する。			
	活動計画 ①-1 各学部の児童生徒の実態に応じて、児童生徒が興味を持ち、積極的に取り組める学習内容を選定する。 ①-2 災害時を想定した防災学習を実施することで、災害時における安全確保について適切に対応できる力を養う。	活動計画の実施状況			

令和2年度 学校評価（総括評価表）

重点課題	重点目標	評価指標	評価		学校関係者評価 (学校関係者の意見)
			評価指標による達成度	自己評価	
◆教員の専門性の向上を図り、授業力と指導力を高める。	＜中・高等部＞ ・遠隔授業システム(テレビ会議システム等)を活用した学習活動を実施し、病弱特別支援学校教員としての知識と技術を高める。	①学校と病棟及び家庭、地域をテレビ会議システム等を活用して年間6回以上学習活動を進める。			(所見)
		活動計画	活動計画の実施状況		
		①-1 教員を2グループに分け、A班(学校と病棟及び家庭)、B班(学校と地域)に分けて、遠隔授業の活動計画を立て、実践を進める。 ①-2 学習におけるタブレット端末活用方法を検討しながら進め、活動内容の振り返りと改善を行い、次回の取組に生かす。			
	＜研究課＞ ・研修会を通して、病弱教育や肢体不自由教育、発達障がい等に関する知識や経験を深め、専門性の向上を図る。	評価指標	評価指標による達成度	自己評価	
		①外部講師を招聘した自立活動に関するワークショップ形式の研修会を3回以上実施する。 ②特別支援教育や福祉に関する内容のミニ研修会を年間5回以上実施する。			
		活動計画	活動計画の実施状況		
	＜教務課＞ ・昨年度作成した「道徳科」の評価文例集に、文例を追加・修正することで、学校教育活動全体を通して、道徳性を養うための授業づくりに資するようにする。	評価指標	評価指標による達成度	自己評価	
		①12月末までに文例の追加等を行うことで、「道徳科文例集」を更新・周知することで、道徳教育の推進及び評価等に資するようにする。			
		活動計画	活動計画の実施状況		
		①-1 道徳教育全体計画の各目標をもとに考えられる評価の文例について、各学部から募集する。 ①-2 教務課で取りまとめ、道徳科以外の、各教科等を合わせた指導や、教育活動全体を通じて行う道徳の指導についても、文例を更新できるようにする。			

令和2年度 学校評価（総括評価表）

重点課題	重点目標	評価指標	評価		学校関係者評価
			評価指標による達成度	自己評価	
◆保護者や地域、関係機関と連携や協働を図り、開かれた学校づくりを推進する。	<中・高等部> ・学校や生徒の情報の共有や発信をし、保護者との連携に努める。	①保護者と3回以上面談を実施して、その時点における「ずれ」のない教育的ニーズを把握する。			(所見)
		②生徒の特性や学習状況等について、生徒一人あたりケース会を4回以上実施することで、教員間の共通理解を図り、情報共有を充実させる。			
		③ホームページへの掲載を、教員一人あたり1回は実施する。			
	活動計画	活動計画の実施状況			
	①保護者面談を学級担任全員で行い、保護者や生徒の情報について共有を図る。				
	②学部やグループでのケース会を計画的に実施して、学習状況等の共通理解を図り、必要に応じて保護者に報告する。				
③ホームページ担当者研修会で掲載方法を学び、生徒の活動の様子や作品等をホームページに掲載し、情報発信を進める。					
<特別支援教育課> ・児童生徒及び保護者のニーズを把握し、関係機関との連携をすすめるとともに、地域においてのセンター的機能の推進を図る。	評価指標	評価指標による達成度	自己評価		
	①進路ニュースを年5回以上発行するとともに、ホームページに掲載する。				
	②「かも先生の特別支援教育だより」と題した特別支援教育に関する情報を年5回程度ホームページに掲載する。				
活動計画	活動計画の実施状況				
①-1 進路ニュースを積極的に作成し、家庭に配付する。また、地域には自立支援協議会等で、ホームページ掲載について周知を図る。					
①-2 進路ニュースの内容に、在校生の就業体験の様子や卒業生の進路状況及びアフターフォローについても取り入れ、保護者や地域の関係機関に卒業後の進路について周知を図る。					
②-1 巡回相談員活動において、地域の特別支援教育に関するニーズを把握し、それらのニーズに応じた情報をホームページに掲載して地域等へ発信する。					
②-2 「かも先生の特別支援教育だより」をまとめ、年度末に特別支援連携協議会等で配付する。					